

● 教育施策体系及び評価一覧(総合評価)

小項目		指標名	指標内容				評点	前年度との比較	
			基準値	基準年度	実績値	実績年度			
Ⅰ 一人一人の個性や能力を伸ばす教育の推進									
1 確かな学力の育成	(1)義務教育段階での取組	「授業が分かる」児童生徒の割合(小・中学校)		84.0%	R3	79.9%	R7	4	→
		全国学力・学習状況調査における平均正答率の本県と全国との差(小・中学校)	小 中	-2 -1	R3 R3	-3 -2	R7 R7	1 1	→ →
	(2)高等学校教育段階での取組	「進路実現に学校は役に立っている」と感じている生徒の割合(高校)		71.4%	R3	73.5%	R7	4	→
2 教職員の資質・能力の向上		研修で学んだことを活用した・活用する予定であると答えた教員の割合		99.2%	R3	99.1%	R7	4	→
3 学びにおけるICTの活用		教員のICT活用指導力の「授業中に活用して指導できる」割合		66.8%	R3	80.5%	R6	3	↗
		ICTを活用した授業が、学習意欲の向上につながっていると考える生徒の割合(高校)		83.2%	R3	88.8%	R7	4	→
4 グローバル社会に対応した教育の推進		授業中の英語の使用率	中①	69.3%	R3	64.9%	R5	2	→
			中②	68.8%	R3	54.6%	R5	1	→
			高①	40.9%	R3	47.4%	R6	1	→
			高②	40.9%	R3	33.1%	R6	1	→
5 持続可能な社会を構築する教育の推進		環境教育全体計画を作成し、実践を進めた小・中学校の割合		80.3%	R3	81.5%	R7	3	↘
6 夢や希望をかなえるキャリア教育の推進		「進路実現に学校は役に立っている」と感じている生徒の割合(高校)【再掲】		71.4%	R3	73.5%	R7	4	→
7 豊かな人間性や社会性の基礎をはぐくむ幼児教育の充実		スタートカリキュラムの編成において、保育所・幼稚園等と連携した割合		66.3%	R3	83.0%	R7	4	→
8 豊かな心、倫理観、規範意識などを はぐくむ教育の推進	(1)道徳教育・体験活動・情操教育の推進	自然体験活動や社会体験活動などの実施校(小・中学校)		97.0%	R3	100.0%	R7	5	→
	(2)いじめをしない、見逃さない、許さない意識の醸成	「いじめはどんなことがあってもいけない」と考える児童生徒の割合(小・中学校)	小	97.9%	R3	97.8%	R7	4	→
			中	97.0%	R3	96.4%	R7	4	→
	(3)人権教育、同和教育の推進	現地研修会実施率(人権教育、同和教育)	小	27.8%	R3	46.7%	R7	5	→
			中	32.9%	R3	49.4%	R7	5	→
			高	32.6%	R3	51.1%	R7	5	→
			外部講師による講話、講義の実施率(小・中学校)	小	48.1%	R3	68.8%	R7	5
	(4)郷土への貢献意欲を高める教育の推進	ふるさとへの愛着や誇りをはぐくむ体験活動(ふるさと学習、地域でのボランティア活動等)を実施した小・中学校の割合 ※地域や社会をよくするために何かをしてみたいと思う児童生徒の割合(R5～)	小	97.9%	R3	95.9%	R7	4	→
			中	93.4%	R3	92.1%	R7	4	→
			小	59.6%	R3	83.0%	R7	5	→
中			50.6%	R3	77.3%	R7	5	→	
9 健康でたくましい心身をはぐくむ教育の充実		新潟県体力テストの平成30年度の本県平均値を上回った項目数	小中高	小学校 0/64 中学校 7/48 高等学校 19/48 (H30年度の本県平均値を上回った項目数)	R3	小学校 6/64 中学校 15/48 高等学校 15/48 (H30年度の本県平均値を上回った項目数)	R7	1	→
10 家庭や地域と連携した魅力と活力ある学校づくりの推進	(1)義務教育段階での取組	「学校生活が楽しい」と思う児童・生徒の割合(小・中学校)		84.9%	R3	87.4%	R6	4	→
	(2)高等学校教育段階での取組	「進路実現に学校は役に立っている」と感じている生徒の割合(高校)【再掲】		71.4%	R3	73.5%	R7	4	→
				評点の平均値				3.5	↗
				総合評価				C	→

● 教育施策体系及び評価一覧（総合評価）

小項目	指標名		指標内容				評価点	前年度との比較
			基準値	基準年度	実績値	実績年度		
Ⅱ 誰もが等しく豊かな教育を受けられる環境の整備								
1 教育費の負担軽減ときめ細かな学力向上支援	住民税所得割非課税世帯と課税世帯の大学、短期大学及び専修学校（専門課程）への進学率の差		10.0% 非課税世帯66.1 課税世帯76.1	R3	8.1% 非課税世帯69.2 課税世帯77.3	R7	5	↗
2 様々な悩みを抱える児童生徒に対する相談・支援体制の充実	高等学校における経済的理由、学校生活・学業生活不適応による中途退学者の人数	不適応	106人	R2	92人	R6	5	→
		経済的理由	0人	R2	0人	R6	5	→
3 地域と連携した学習支援、家庭教育支援の充実	放課後や土曜日等の学習支援活動を活用し、学習している子どものいる市町村数(訪問型含む)		24団体	R3	29団体	R7	4	↗
4 インクルーシブ教育システムの構築	子どもの多様な教育的ニーズに応える学校づくりに向けて、外部機関と連携し、それを活用している小・中学校の割合	小	99.4%	R3	99.0%	R7	4	↘
		中	100.0%	R3	97.4%	R7	4	↘
	子どもの多様な教育的ニーズに応える学校づくりに向けて、外部機関と連携し、複数の分野で具体的な効果があった小・中学校の割合	小	86.4%	R4	78.6%	R7	2	→
		中	79.6%	R4	77.3%	R7	2	↗
5 多様化する教育ニーズに対応する高等学校定時制・通信制教育の推進	「進路実現に学校は役に立っている」と感じている生徒の割合(高校)【再掲】		71.4%	R3	73.5%	R7	4	→
			評価点の平均値				3.9	↗
			総合評価				B	↗

小項目		指標名	指標内容				評価点	前年度との比較	
			基準値	基準年度	実績値	実績年度			
Ⅲ 児童生徒が安全に安心して学べる学校づくり									
1 いじめ防止等の取組	(1)いじめをしない、見逃さない、許さない意識の醸成【再掲】	「いじめはどんなことがあってもいけない」と考える児童生徒の割合(小・中学校)	小	97.9%	R3	97.8%	R7	4	→
			中	97.0%	R3	96.4%	R7	4	→
	(2)未然防止、早期発見・解消に向けた取組	いじめの解消率(小・中・高等・特別支援学校の全体)		97.4%	R2	91.0%	R7	4	→
2 信頼される学校をつくる生徒指導体制の充実	(1)不登校への対応	不登校児童生徒の割合(小・中・高校) 【不登校数／在籍生徒数×100】	小	0.91%	R2	2.19%	R6	1	→
			中	3.85%	R2	6.97%	R6	1	→
			高	1.70%	R2	2.20%	R6	2	→
	(2)非行・暴力行為等への対応	暴力行為の児童生徒数1,000人当たりの発生件数		9.2件	R2	24.9件	R6	1	→
	(3)中途退学への対応	高等学校における経済的理由、学校生活・学業生活不適応による中途退学者の人数【再掲】	不適応	106人	R2	92人	R6	5	→
			経済的理由	0人	R2	0人	R6	5	→
3 教職員が児童生徒と向き合える環境づくり	時間外勤務が月45時間を超える教職員の平均割合(小・中・特支・高)		小	36.0%	R3	26.4%	R7	5	↗
			中	49.3%	R3	33.4%	R7	4	↗
			特支	5.2%	R3	4.6%	R7	1	→
			高	25.8%	R3	21.9%	R7	4	↗
	時間外勤務が年360時間を超える教職員の割合(小・中・特支・高)		小	65.2%	R3	53.0%	R7	5	→
			中	75.2%	R3	59.5%	R7	4	↗
			特支	16.9%	R3	13.8%	R7	5	→
			高	53.3%	R3	46.0%	R7	5	→
	多忙化軽減に係る教職員による5段階評価の平均値(小・中・特支) ※「多忙化は解消されたか」の設問に対し、5段階評価で回答した平均		小	3.5	R3	3.5	R7	3	→
			中	3.4	R3	3.7	R7	4	↗
			特支	3.3	R3	3.6	R7	4	→
	多忙感緩和に係る教職員による5段階評価の平均値(小・中・特支) ※「多忙感は緩和されたか」の設問に対し、5段階評価で回答した平均		小	3.5	R3	3.4	R7	3	↘
			中	3.5	R3	3.6	R7	4	↗
			特支	3.4	R3	3.5	R7	3	↘
4 児童生徒の安全確保と防災教育等の推進	新潟県防災教育プログラムの活用率(小学校、中学校、中等教育学校前期課程、特別支援学校小・中学部)		94.0%	R3	86.3%	R7	3	↘	
5 学校施設の耐震化・機能向上	県立学校施設の耐震化率		99.7%	R3	100.0%	R7	5	→	
				評価点の平均値				3.6	↗
				総合評価				D	→

小項目	指標名	指標内容				評価点	前年度との比較
		基準値	基準年度	実績値	実績年度		
Ⅴ 生涯学び活躍できる環境づくり							
1 多様な主体の連携・協働による生涯学習の環境づくり	県民一人当たりの社会教育関係施設利用回数	3.79回	H29	3.05回	R5	2	↗
2 学びを活かした豊かな地域社会に向けた支え合いづくり	生涯学習指導者養成講座・研修の参加人数	2,463人	R3	2,700人	R7	1	→
3 活力ある地域づくりに向けた地域社会と学校の連携の促進	地域学校協働活動取組校の割合	89.2%	R3	88.8%	R7	3	→
		評価点の平均値				2.0	↗
		総合評価				D	→